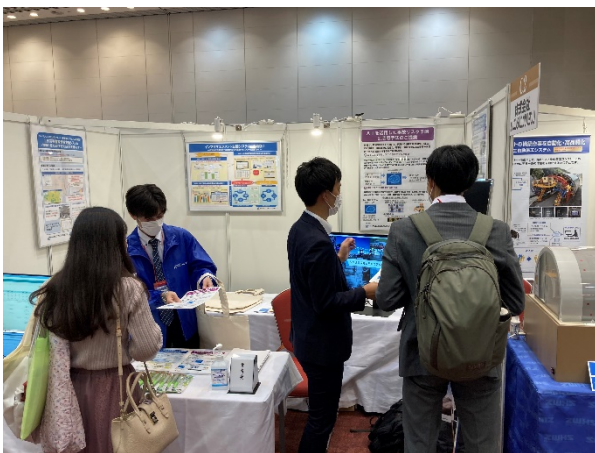
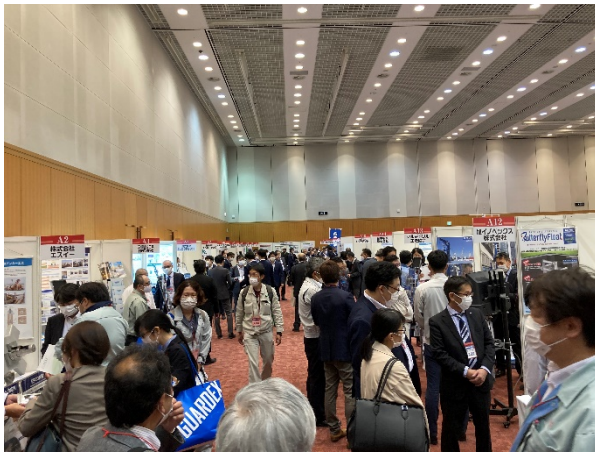


九州建設技術フォーラム 2021 に出展

当社は、令和3年10月25日（月）～26日（火）開催の「九州建設技術フォーラム 2021」に出展致しました。
当フォーラムでは、AI 交通事故リスクのオンライン予測技術やインフラマネジメント支援システムを活用した橋梁維持管理の円滑化の紹介など、当社保有の最新技術を展示致しました。

名 称 : 九州建設技術フォーラム
主 催 : 九州建設技術フォーラム実行委員会
期 間 : 2021年10月25日（月）～2021年10月26日（火）
会 場 : 福岡国際会議場 1階ロビー、2階多目的ホール

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1



AIを活用した事故リスク予測と活用手法のご提案

弊社では事故リスクをAIを用いて、予測する技術を研究開発しました。この技術を、道路管理の高度化・効率化、情報提供による事故の未然防止等への活用する手法をご提案します。

○ AIによる事故リスクの予測モデルの構築

事故の発生の原因となる、気象条件、交通条件等の様々なデータと、実際に発生した事故データを用いてAI(ディープラーニング)により学習させることにより、精度の高い事故リスクの予測モデルを構築します。弊社では首都高速道路でモデル構築をした実績があります。



○ 事故リスク予測結果の活用手法

事故リスクを事前に把握することで、道路管理の効率化・高度化、情報提供等様々な場面に活用できます。結果、事故リスクを低減することが可能です。

【AI】数時間後の事故リスク



- 過去の事故履歴
- 直近の交通状況
- 直近の天気、予報等

① 道路管理の効率化・高度化

- 危険な区間を事前に把握
- 監視モニター等優先的に表示
- 危険な路線へのパトロール強化



② 情報提供

- 事故リスク情報を情報板等に提供し、注意喚起を促す

現在、事故リスク 通常の3倍！
注意して走行して下さい

お問い合わせ

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

インフラマネジメント支援システム(橋梁版)

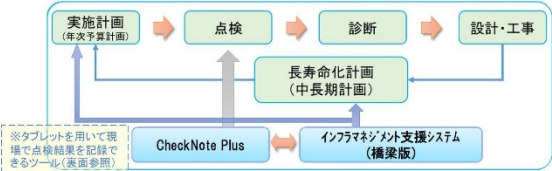
~自治体の効率的かつ効果的な公共施設マネジメントを支援します~

● 自治体の抱える橋梁維持管理における課題

自治体の橋梁維持管理では事業執行段階で下記のような課題が明らかになっています。
課題① 橋梁長寿命化計画の予算と実工事費とが乖離することが多く、長寿命化計画通りに修繕工事が実施できない。(予算超過で次年度工事、次々年度工事などに変更)
課題② 点検結果や修繕工事の予定変更がタイムリーに長寿命化計画に反映できない。
課題③ 補修設計等において、点検結果納品時から次年度の予算化までに時間が長い。

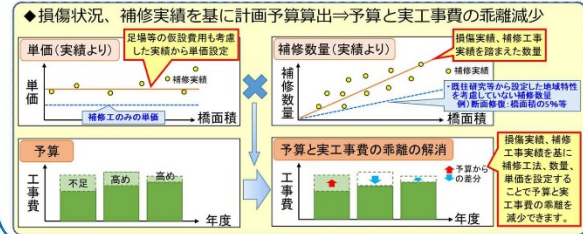
● インフラマネジメント支援システム(橋梁版)による維持管理の円滑化

- インフラマネジメント支援システム(橋梁版)は、長寿命化計画に基づいた「実施計画」⇒「点検」⇒「診断」⇒「設計・工事」といった橋梁維持管理業務を円滑に支援します。
- 「CheckNote Plus※」との連携で点検作業も効率化し、橋梁維持管理を最適化します。



● 提案①:実績から補修数量、補修単価を設定

計画策定時に補修実績を基に予算設定の精度を高め、予算と実工事費の乖離を減少させることで現実合った長寿命化計画の策定が可能。



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

【東北支社】
〒980-0801
宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6番1号
担当: 橋梁部 安藤 TEL 022-215-5625

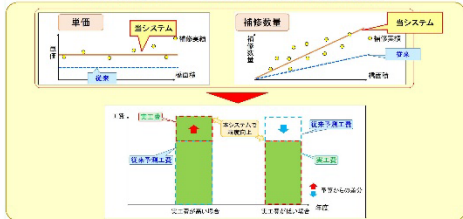
インフラマネジメント支援システム(橋梁版)

~自治体の効率的かつ効果的な公共施設マネジメントを支援します~

システムの特徴

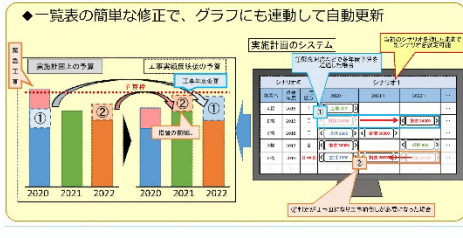
特徴①: 予算と実工事費の乖離を減少!

過去の実績をベースに単価と補修数量を設定!



特徴②: 修繕工事等の実施計画作成作業を効率化!

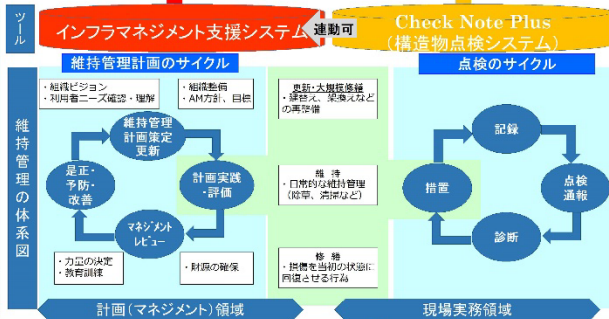
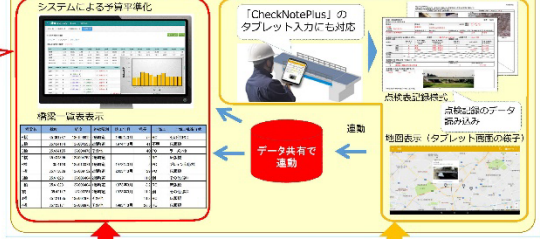
職員の手で実施計画の修正がカンタン操作!



特徴③: 点検結果更新の円滑化による更なる効率化!

点検システムとの連携による効率化が可能!

◆「点検表記録様式」を簡易な操作で取り込み(タブレット入力にも対応)



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 宮内、丸山